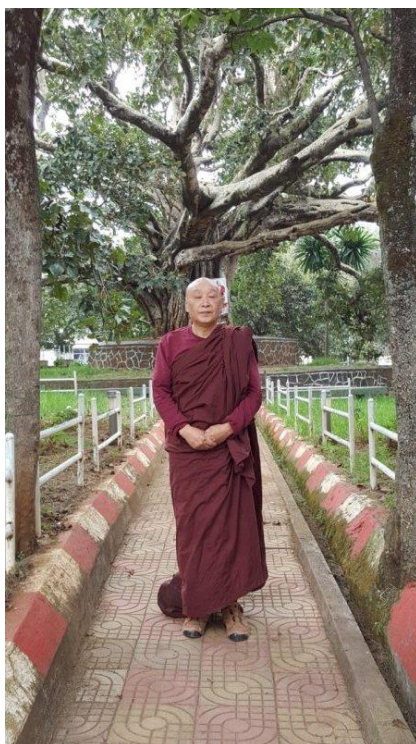


水源禅師法話集 108

(2019 年 4 月 28 日 山梨合宿 2 日目)

2019 年 6 月 21 日

一乗禅の会



目次

水源禪師法話

観自在菩薩と観世音菩薩はどちらも正しい	3
無限に生死を繰り返すが故に無限に苦を受ける	3
カシナの瞑想法と禅定の使い方	4
お釈迦様の行った供養の儀式	6
永遠の、無限の中で生老病死を繰り返す	8
本当の供養とは、法を求めて体得する事	9
日本の神様のお願いで発表している	11
非常に重要な経典「金剛般若波羅蜜多経」	11
「タサ」	12
心々伝印	13
「ウパニシャッド」	16
神を信じていない集団による世界で起こる悲劇	18
本題に入る前に	20
無所得	21

水源禪師法話

観自在菩薩と観世音菩薩はどちらも正しい

観自在菩薩、観世音菩薩。私達は玄奘大師様の方を読んでいますけども、どちらも間違いではありません。

観自在菩薩の場合は、ダンマヌパッサナー=法随観の観方の、ナーマルーパのジャーナの方から入って行きますから、観自在菩薩行深…サンカラを深く観るという。

観世音菩薩の場合は四梵天住の方の観方で。観世音菩薩となります。それは、ダンマヌパッサナーの何処を強調するかによって観る事になります。行深は全てのナーマルーパを観て行くという事で、そこの違いがあるだけで。どちらも、物の見方の観点からの違いであって、どちらも正しいです。

ここは私達が「あれだ、これだ」と言うに及ばない方々の訳なので。どちらでも好きな方をとって下さい。よろしいでしょうか。

無限に生死を繰り返すが故に無限に苦を受ける

禅法でも一緒です。ある程度明るくして、目を少し開いて。というのは、ニミッタがなかなか出ないから、その手法を使います。

全て心の問題だから、如何に心を進化させて行くかという宇宙的な課題があります。ですから、仏界、欲界、色界、無色界という仕組みがあるわけなのですけど。私達は、到底考えられない、絶対に考えられない仕組みの中で生死を繰り返す。

お釈迦様が、何故このように、私達にこれだけ優しく導いて下さるのか。昨日、お話した中で、ちょっとそれに触れましたけど。

本題になかなか入れないのですよね。何故かと言ったら、この時空の問題を皆さんに、ある程度分かって欲しいのですけど。やはり、菩薩様になれば、これを実に明快に説明されて。三蔵法師＝玄奘大師様になれば、それをまた、実に明快に説明されているのですけど。

現代において、科学のトップに立つには数学の基本、コンピューターにしる何しろ。その科学のトップをいとも簡単に乗り越えてしまっているわけですね。偉大なる安慧菩薩様です。

心と名色の事の最も大切な事を、無限に心を割って行く時間帯も、無限に時間帯を、無限を無限で割っても無限である。無限を4で割っても無限。ここをちゃんと整理して頂かなければ、結局、基本的に私達は何故生まれて苦しむの

かという、ここの繋がりが不安定になります。

お釈迦様はパーリ語で、私達は無限に生死を繰り返していると。無限に繰り返しているから、無限を幾ら割っても、無限に続いていくわけです。無限に生死を繰り返すが故に、その中で無限の苦を受けるという。サファリング、生老病死。この中で、如何にして、この無限帯の時空の中で私達は、そこから抜け出す事が出来るかというポイントがあるわけです。

それは、クサラ、アクサラ。クサラ＝三十四善心、こっちの方では十の良い心という風に説かれているわけですね。そっちの違いはありますけども。結局、禪定に入っていけば、パンニャの力が出て来ます。

カシナの瞑想法と禪定の使い方

禪定を持つ為には、禪法でする方法があります。私はそっちの方で指導を受けたものだから、パオに行って、禪定に入る正式な方法を非常に上手く行けたわけです。その前に、何も分からず何十年も座っていたから。

この経典を中国で手に入れて、達磨多羅禅経を読めば、非常に重要な修行の方法、アナパナから入って、身髄観、それから受髄観、それから、心のチッタヌパッサナー＝心念処、受念処、法念処、ここを書いているわけですね。

ここをダンマヌパッサナーだけでも、この行をやって行かなければならないわけです。これ全部。その中で、ずーっと観て行った場合、第四禪定、第一、第二、第三、第四、第五、・・・が非常に大切だという事が書かれています。

パオの正式な方法では、お釈迦様の正式な方法では、やはりカシナを持たなければならぬわけですね。カシナの瞑想法。何故カシナの瞑想法が必要かと言えば、名色の事をしっかりと分からなければいけないわけです。物質界と無色のNON物質の世界。の瞑想法をしなければいけないわけです。

そこで、何故それが重要かと言えば、普通は第四禪定で終わるでしょう？その後の第五、六、七、八禪定まで行けるわけです。カシナを使えば。この力によって第四禪定だけでは見えない世界があります。

最も困難な教科に入る時には場合には、大体、第八禪定で行きます。ところが、第八禪定は、非常に、その鋭いが故に壊れやすい。一番安定したのが第四禪定で。普段は第四禪定、こういう最後の方だから、私は第八禪定で瞑想しています。皆さんと一緒に。何故かと言ったら、このバイブレーションはあなた方の心の中にしっかり入り込んでいるから、いつの日にか必ず花を咲かすようになります。

ここの一念即無量遠劫、また無量遠劫即一念という、無限が一に帰して、一が無限になるという事は頭だけではなく、実体としてあるわけです。そういう

話聞いた事あります？私以外に。

【参加者】

あります。ネットで。〇〇大師という方が。

【水源師】

ああ。そうですか。

その印光大師様が実体としてこの世にあるという事を言われていますか？あるのです。空論ではないのです。

私は宝石学を少し勉強しましたから、その中で、宝石にはオプティック、光のアクセスというのがある。地球はアクセスして、こう南北の、こうクルクル周るでしょう。四つの光のアクセスとか。六つに分かれるようにとか。ところが、水晶は無限のオプティックアクセスという。1つの玉に無限が入るわけです。全ては空論ではないわけです。

昨日から何回も何回も時空のカルパの事をお話しているでしょう？結局、何故カルパの事を話しているかと言えば、結局、その時空の事を理解しなければ、ある程度理解しなければ、お釈迦様の話が全て空論になってしまいます。空論になっている事を知らずに勉強をした場合には、一体何を勉強しているかという事になります。時空の関係です。昨日ちょっとお話したでしょう。キセノン124 アイソトープの時空は、今まで私達が考えているような時空=140億年には到底はまらない、超巨大な世界になっています。

何故かと言ったら、昨日お話した事、覚えていますか？ちょっとこのお釈迦様のお話。布施第一と言っていたでしょう？その大金持ちが、困った人に施しをいつでもしていたわけですね。その高德によって、今度は次の世に三十三天の王様、サッカーという天界の王に生まれたわけで。昨日お話したでしょう。その次の子もまた、同じようにしたわけですね。それでチャンダという月の神になったと。その次もスーリアという太陽の神になったと。その後は梵天の行者になったと。ブラフマーの世界の梵天の王様ですね。それは色界です。サッカーの王は欲界の第二天の王様。ブラフマーは色界ですからその上です。第五番目は天界で音楽を奏でる最高方になったと。で、六番目の方はとってもケチで、油一滴でも人に恵まないと。という事が天界から見て分かったわけですね。

という事はこういう時空の事を知らなければ、まるでお伽話になってしまうわけです。これは、お釈迦様の過去の事をお釈迦様が語っているわけです。時空をしっかりと分からなくて、瞑想で身体がちょっと治ったとか、そういう事で、ただ仏教に触れて良いという事で終われば、どういう事になるか分かります？つまり、仏法というのはそう軽々しく有難くという、それ以上の事です。

Mさんはスリランカに行かれてどうでした？あの仏国を見て。

【参加者】

日常の中に祈りの場があるというのが、良いなと思いました。

【水源師】

つまり、永遠の時空の中で生きているという事です。今、この日本は世界の中でも珍しく食べ物は良い。精神界は別として、物質界は電車に、ありとあらゆる施設もあって、非常に便利になっています。この社会は。

もし、この仏国でしっかりとこの法を学ばない限りは、どういう事になるか分かりますか？

お釈迦様の行った供養の儀式

これは私ではなく、お釈迦様の言葉。ある大王が、とてもお釈迦様に帰依して、サポートしていました。ある時、両親が亡くなったわけですね。非常な悲しみで、お釈迦様にお願いしたわけです。「私は両親の事を考えたら、とても胸が痛くて、苦しいから、何とか供養して良い所に上げて下さい」と。「よし、よし。そしたら、壺を二つ用意して下さい」と。一つ絹を入れて、もう一つはギーと言って、ミルクから取れるとっても美味しい、醍醐ですね。醍醐味。身体には良い、美味しい。後醍醐天皇の醍醐です。「それを二つ用意してくれ」と。

その大王が、「お釈迦様、どういたしますか？」と。「はい。これを川の側に持って行きましょう。そこで儀式をしますから」と。で、川の側に持って行ったわけです。お釈迦様は大王に「じゃあ、この二つの壺を割って下さい」と。大王は言われるままに、壺を二つパーン、パーンと割ったわけです。

その壺から出た絹は川の底に沈み、それから、ギーというミルクから出る薬のような食べ物は、水に浮かんで流れ去るわけです。

そして、その時に、「この世で、あなたのお父さんお母さんが良い事をすれば、このギーのようにサラサラと良い所に流れて行きます。ところが、贅沢をして欲しいままにして、絹のような生活を続けた場合には、このように川の底に沈みます。地獄に行きます」と。

だから、この世で、本当の意味で人々に良い事をする事によってだけ、次の来世にかかってきます。最大の良い事は何か？お釈迦様がここで言うように、苦から出る法を得る事です。生老病死の苦より出でる事です。



エチオピア

永遠の、無限の中で生老病死を繰り返す

ところが、日本では朝から晩まで、医療の事をテレビとかいろんな方法でやっています。今から、50 年前、私がカナダに行った時、同じ事。朝から晩まで病院関係とか病気の事、まあ、人が静かに心の修行をして、進化する事を防いでいるわけです。

という事は、永遠の、無限の中で、生老病死を繰り返すわけです。その現実はどういう事か分かります？つまり、足枷手枷で、鉄の手錠をはめられて、鉄のリヤカーの側で寝る時は、主治医がロックして。起きたら、ロバとか象を使ってそれを動かすと。主治医がおかしな悪い事をするから、このロバと象さんは頭が狂ってしまう。悪行をやるから。その悪行をやる。動物を使って人間と一緒に働いたら、同じように狂ってしまう。そのように手枷足枷されて、逃げられないというのが、永遠に続いている。という事をお釈迦様は、法随観の最初の所で言われています。

それで、昨日お話したように、その大金持ちはお釈迦様だったと。第二代目はシャリプトラ。三番目は大目連とお話したでしょう？そういう風に、良い事をする人達は永遠に良い集団として、良い所へどんどん進化して行きます。

ですから、私が、こうして 10 年以上日本に来て、もう最初は無からして来たのは、何か、天界の事で来ています。でなければ、皆さんが世界でも稀な、生活状態としては、絹を羽織るような生活をしています。そうじゃないですか？スリランカを見たら。あれでもスリランカは良い方なのですよ。道路はしっかりして。インドの中はもっと大変です。アフリカに行けばもっと大変。

そういう生活をして、法を求めず仏国で生きた場合には、お釈迦様が示したように川に浮きません。仏教は有難教じゃないのです。仏教は一人一人の生命体を救う。この世で最も尊い教えなのです。つまり、お釈迦様は阿耨多羅三藐三菩提をいち早く手に入れて下さいと。という事をお願いしているわけです。

それで、四人の比丘に、達磨多羅禅経の中、カーヤヌパッサナーはマハーシ、ヴェーダヌパッサナーはゴエンカさん、チッタヌパッサナーは禅、達磨大師様。法随観はダンマヌパッサナー、パオに存在し、今でもあります。奇跡的に、今でも私達はそれを手に入れる事が出来ます。

ただ、この解説は、存在はしているが、どういう風にしていったら良いかは書いていない。特にカシナの瞑想で第八禅定に入る方法はここにはないです。南伝の方も、ほとんど秘密にして教えません。私の場合には、教科の度に、いちいちパオセヤドーに電話して聞いていたみたいです。だから、パオセヤドーが居るときはツーカーで教科が進みますけど、外国に行かれた不在の間、連絡を取れない時は、四日か五日待たなければいけない。「待ってくれ。待ってくれ」

と。ウレヴァタバンテも、次の教科に進める事が出来ないわけです。逐一報告していたわけですね。私の場合は。という事はどこまで秘密を教えて良いかという事です。それで、最後にパオセヤドーに会った時に「私はこれから、南米に行きます。南米を開拓します」と。「それで、よろしくお願いします」と。「私はいつもお前の後ろから見ている」と。そういう神通を持っています。また、私の印幻先生にも報告したら、「いつでもお前の後ろを見ている」と。そういう方はすべて、神通を持って仏法を広げる事だけが願い、本当の仏法ですよ。

本当の供養とは、法を求めて体得する事

結局、今流行りの西洋のOSHONさん、和尚という日本の名前を付けて、世界ではワイワイ騒いでいるけど。一般的には、仏教に入る入口として否定はしないけど、それが本当だと信じた場合には大変な災いを起こします。

本当の仏法というのは、スリランカ、タイ、ミャンマー、カンボジア、永遠に長年続いた所に行って初めて、その偉大さが分かります。日本では、最大の仏教はどういう事をしますか？葬式じゃないでしょうか。葬式の内容をお釈迦様は、「こういう事をしちゃいけませんよ」と、そういう事で大王に儀式を教えたわけです。壺を割って。「生きている時にこそ、本当の供養は、本当の修行をしてください」と。その最高の教えが、サティパターナ＝四念。

という事を、日本の法曹界は、必ず、これを言わなければいけないと私は思います。特に、ナーマルーパ（名色）の非常に大切な、この経典を持っていないという、これは法相宗の核心の事が書かれています。昔は日本に絶対にあったはずですが。分からないからそれを何処かにしまい込んで。今でも何処かにあるかもしれません。探し出せない様になっているし。もし、探し出せても、何を意味しているか分からないと思います。つまり、お釈迦様は、「本当の供養とは、法を求めてしっかり、自分で法を体得してください」と。という事を言われているわけですね。「それが、死んだ方々に対する最高の供養になります」と。あなた方が本当に修行して、法を求める事をすれば、暗き世界に行った人にも、心と心は通じているから、良い結果をもたらします。天界に行かれたご両親はもの凄く喜びます。

という風に、私達は相当頭がイカレてしまっている。時空の事も考えない。ガリレオ・ガリレイは400年前、殺されそうになった。「地球が宇宙の中心である」と。それを否定した。「実は、私達は太陽の周りを周っている」と。コペルニクスの文献を彼がもう一回点検したら、その通りで。コペルニクスはカソリックのお坊さんだから、これを発表したら殺されるから、死んだ後で地動説を出した。今でも、本当の事を言えば、ジュリアン・アサンジみたいに死の宣告

を受けざるを得ないように。アメリカの方で裁判にかけて、テロリストを収監する刑務所に送ろうと必死でしょう？まあ、私達の悪行は尽きることがない。



水源師とエチオピアの市民

日本の神様のお願いで発表している

本題に入りますけど、お釈迦様が涅槃に入る最後の最後のメッセージが、金剛般若波羅蜜多經になります。何故、金剛と付くかと言えば、その昔、カブールは銅山の上に出来た街で。過去 6000 年。ローマ帝国にしろ、青銅が無ければ、敵と戦えないわけです。銅とスズを混ぜて、青銅という固い武器が出来るわけですね。それが、シルクロードの上にあるから、長安とカブールと直結しているわけです。クシャン帝国が一時、ほとんどインド全部、今のバングラデッシュも入ります。北のインド、パキスタン、アフガニスタンと、全て昔はインドだったわけです。観音様の化身が生まれたのはホータンという所で。今でもホータンという街がカブールの南の土地にあります。皆さんが、「観音様が千億仏を従えて」と。その化身の方が、ホータンの第三女の王女として生まれたと。つまり、クシャン帝国の大王の娘だから、そのまま帝国を守って欲しいという事だったわけですね。中国の伝説の話をみれば。

私達の方には、ほとんど本当の話が伝わっていません。もし、ここで皆さんが、真剣に聞かなくて、生半可に聞いていたら、日本の神様が怒ると思いますよ。私はここに来ているのは、日本の神様に呼ばれて来ているだけであって、人間に呼ばれて来ているのではありません。日本に生まれて、日本で暮らして、日本の神様を怒らせたなら、どういう事になります？目も当てられない。次の世は。

ここで、明日死んでも良いというような事を、神様のお願いで発表しているだけであって、私が発表する必要は一つもないわけです。というのは、日本の神様は日本で生まれた自分の子供達をととても心配しています。法を伝える人がいないわけです。今みたいな話を聞いた事がありますか？歴然と経典に書いてあります。歴然と書いています。未だに誰が説明しました？この事を。

非常に重要な経典「金剛般若波羅蜜多經」

お釈迦様が涅槃に入る前に、祇園給狐独園、つまり祇園精舎でお話ししたと書かれていますけど、実際は違います。実際にこの話をされたのは、クシナガラで昇天する時に、最後の比丘スボダナ＝須菩提、この方がお釈迦様に最後の比丘として呼ばれた時に、「お前を最後の比丘とする」と。「私がこれから、涅槃に入る時、どういう事をお前は知りたいか？」と。「私は全インドを周って、全ての修行を終えて来ました。今、先生が死のうとして最後の時に、こうしてここに駆けつけて、最後の教えを先生から聞きたい」と。「阿耨多羅三藐三菩提をどういう風にして手に入れたら良いのでしょうか？」という事がここに書か

れています。つまり、般若心経の中に書かれてある、「般若波羅蜜多に依るが故に心無罣礙、無罣礙故、無有恐怖、遠離一切顛倒夢想、究竟涅槃。三世諸仏、依般若波羅蜜多故、得阿耨多羅三藐三菩提」ここです。非常に重要な經典なわけですね。

それで、達磨大師様が中国からインドにパミール高原を通過して、カブールを通過して帰ったそうです。私も達磨大師様にとっても憧れて、インドのチェンナイの海に入って、「有難うございます」と言って、そこから旅してインドネシア、ジャカルタに入り、それから最後、中国に入るサイゴンにそのお寺があります。そこから広州に入って、少林寺に入って来ました。少林寺で九年座った洞窟に座らせて頂いて、それから旅がずっと繋がって。達磨大師様は長安に行き、長安でこの事を言ったわけですね。「この金剛般若波羅蜜多經を良く研鑽してください」と。カブールに行った事は知らなかったけど、パミール高原というのは、長安からカブールに直結している高速道路だったわけです。シルクロード。昔の。そこからカブールに入りました。で、カブールに入って、やっぱり、そこに呼ばれたわけですね。そこで、摩訶不思議なことに、Dさんが「虚空蔵菩薩を彫りたい」と。私は何も言わなかった。その前に、「好きなもの彫ってくれ」と。カブールから四つの宝石を持って来て、二つはルビー。非常に素晴らしい宝石です。このルビーは。で、そこで、虚空蔵菩薩の究極の教えを頂いたわけです。そこに行かなければ、教えてもらえない。そこに行った時に、天界から究極の教えがパーンと来たわけですね。こういう因縁があります。私は一言も言わなかったでしょう。ただ、喜んで。

「タサ」

ただ一つ、最後、「ナモータサ」のタサが一体何を意味するか解らなかった。真如というだけで。誰も言わない。インドの方の經典、お話しによればこれを目指す。全てのヨギはこれを目指す。ただし、ヴィシュヌ、シヴァ、クリシュナは神でしょう。人間としてタサを明快に獲得出来たという事は、タサガタ、ガタと言うのは Gone、タサと言うのは最も近い日本語では道、茶道、華道、武道の道。英語では Way と言います。だから Gone。行ってしまったと。タサガタそれを如来と訳して。

【参加者】

タターガタという言い方もしますよね

【水源師】

うん。英語ではタサガタ。私は外国に住んでいます。この事は私の領域ではないわけです。日本の法曹界の方が、私が日本に来る十年前に発表しなきゃいけない事。ここは。又、日本の法曹界はカルパ、時空の事を説明しなきゃいけないわけです。誰一人説明していない。ちょっと説明して、浅くしたら、頭が痛くなる話でしょう。科学的には 25 億×100 兆年という時間帯でも嵌らない時空をお釈迦様は言っている。

その時空が発生しなければ、自分がサッカー（第二天）大王になったとか、自分の息子が太陽の神になったとか、その次は月の神になったとか、そういう風な、人間の時空の考えでは当てはまらない。カルパの世界に入って行けば、無量の時間帯の中で発生します。この時間帯を抜かして、ただ拝む、修行した、何処にも行けません。ただし、パオセヤドーとかそういう方から直接の教えを頂くか、エネルギーかそういう事が無ければ、発生しません。

だから、如何に本当の先生に出会えるかという事が非常に大切です。長年、マハーシの行をやってどうでした？

【参加者】

ラベリングを始めて、最初は気持ち良かった。「ああ。こんな感覚があるのか」と。続けてみて、進んでいるような感覚は無かった。で、ラベリングする度に、体中が痛くなった。まあ、上手く行かなかったという、自分の実感です。はい。

【水源師】

その原因は何処から来ているかお話ししたでしょう？

【参加者】

教えられる先生が日本にいないと。

心々伝印

【水源師】

ま、それも一つですけど、心々伝印と。正法眼蔵を挙げたのは、樂山の弥勒菩薩様ですね。ここに正法眼蔵とでっかい看板がかかっています。お寺の中に。曹洞宗の特権ではないわけです。その下に、心々伝印とあります。先生が心から教えを心に打ち込まない限り、それは空論になると言う事です。マハーシの偉いお坊さんを知っています。やはり、普通の方とは全然違います。22 年修行

されて、やはり韓国に呼ばれるくらいの方ですね。そこでサティパターナの内容を説明してもらって、そこで私がクスマ教授・比丘尼、結局、スリランカで最初の比丘尼になった方で。その印を受けたのは韓国の比丘尼からです。スリランカの比丘尼界は潰れてしまったわけです。そこで、比丘尼界を戻す為に、韓国に行って、戒を受けたわけです。だから、韓国の方には法があったわけです。

その最高峰の塔頭から心々伝印を受け取りました。という風な過去世によるものです。それに印幻先生という。印幻というのは印（イン）に幻（マボロシ）と書くでしょう。幻（ナン）は空の事です。空の一つの事です。だから、空の心々伝印を、もう、どれだけ受けたか分かりません。

特にダライ・ラマ法王から直接、こういう風に座って、「四界分別をしっかり、勉強して下さい」と。そういうお話を聞いた事がありますか？ダライ・ラマ法王が皆の前で。無いでしょう。三日に渡って刻々と説明してくれました。私は二百人の中の上座に座って、「君達はまだ若いから、しっかりこのカナダで法を勉強して下さい」と。つまり、ダライ・ラマ法王はやはり、普通の方ではないです。目の前ですよ。普通は目の前や側に行けないでしょう？ずーっと通ったら、部屋が黄金になってしまいます。バーッと。オーラを出して。

という風な本当の力を持った方で。ただ、取り巻きの、政治的な事で、どうにもならない因果があります。中国としては、仏教は必要であっても、これをやった場合には、今の中国は造れないわけです。台湾にみたいに発展するかもしれないけど、必ず、分裂します。仕方ないわけです。

結局、毛沢東の独裁主義で貧困の中で暮らすという手法でしか世界に出られないわけです。そこで、ダライ・ラマ法王は中国の国師なわけです。国師という事分かります？大王の先生なのです。代々。中国の宮殿あるでしょう。北京に。必ず、そこには中国語とチベット語で書かれています。だから今でも、チベットはチベット省というのがあります。中国では文化省、科学省の上の位になります。話は別なわけです。

西洋で言う、イラク、シリア、リビア、アフガニスタン徹底的に破壊したでしょう。その責任、未だに誰も取ってないでしょう。嘘で固めて、何百万という人が路頭をさ迷い、そして、ヨーロッパに行って。

私も今から十数年前に見ました。ワシントンDCの飛行場で英語も言えないアフガニスタンの、その衣を被った女の人がアメリカ人を誘導しているわけです。仕事を与えているのです。アメリカ政府が。その時、アメリカに住んでいるアメリカ人に仕事が無いわけですよ。それも、重要な飛行場でそれをしているわけです。ワシントンDC、キャピタルシティー、首都です。

という風に、この世は、魑魅魍魎の狂った社会で。何故、そうするかと言え

ば、皆さんを、永遠に悪しき世から出したくないわけです。手枷足枷して、働かせて、何をして良いか分からない。それで一生を終わらされると。もちろん、天界には行かせない。行かせるのは地獄界くらいなものです。

ただ、今、こういう風にお寺があって、皆さんが仏神を守っているという事は、ご先祖様によくよく感謝しなければならないと思いますよ。よくよく。

牛に引かれて善光寺。よくよく気を付けて勉強しなければいけないと思いますよ。という事は、明治維新以後、おかしくなりましたが、その前に、どのくらい苦労してこの仏国を造ったかと。そして、日本の神々の神社にも感謝しなければならない。何故かと言ったら、仏神一体となって、「三重の伊勢神宮には高麗大蔵経があります。それが本尊です。また、出雲大社にも高麗大蔵経、広島の大島神社にも高麗大蔵経がある」と。韓国の東国大学の学者が言っていました。

だから、ここで、隣国の韓国と日本がここまでのいがみ合うかと。これはローマ方式のディバイデットコントロール。日本の完全破壊を狙っています。完全破壊ですよ。どこも助けてくれないですよ。だから、皆さんは余程頭を冷やさなければ。この世で終わって、次の世はどのくらいの所へ行くか。想像を絶する所、の状態です。

それで今、富士山のコノハナサクヤヒメ様が本当に現れてくれました。日本の八百万の全部の神様を連れて。お話ししたでしょう？本当に現れて。それで、皆さんが昨年、修行した時に、今お話しする阿耨多羅三藐三菩提が出て来て、観音様がそれをコノハナサクヤヒメ様に捧げました。

それで、この日本の大地は安定するけれど、心から仏教を修行しない、疑似仏教をやった場合にはどれだけの所に落ちるか私は知らない。どれだけの時空でどれだけの苦しみを受けるか？これは脅かしではないです。本当の事です。

ですからスリランカでも、仏にあれだけ帰依しているでしょう？特に仏罰という事をととても恐れているはずですよ。仏法をあれたこれだと、修行もしないで私が知ったと、そして、そういう先生から習った場合にも一緒に落ちてしまうという事をパオの行者が言っていました。

で、如何にそこに落ちないかという事で、必死になって修行していた。次の世は落ちるという事が観えたから。ほとんど、そういう来世を観ないから、何でもあり。そうじゃない。仏に頼めば、何でも願いが叶い、良い所に行く。それもない。さっき、お釈迦様が言われたように「この世で如何に、あなた方が高德をするか」と。

「ウパニシャッド」

だから、お釈迦様の前世を調べてみたら、ある時、お釈迦様は非常に豊かなカシという所に生まれました。今でもカシという国があります。丁度バナラーシから離れて。つまり、昔はシルクロードだったのでしょね。そういう名前が経典にも出てきます。で、お父さんが死んで全財産を受けて、それを全部貧しい人に分け与えました。で、自分はブラーミンの修行。ブラーミンというのは乞食として修行するわけです。お釈迦様が乞食で托鉢するという事ではなく、永遠と続いているわけです。インドでは。だから、インドというのはただの普通の国じゃないわけです。私もバンガローに行った時に、素っ裸で行者が歩いていました。ただ、弁当箱は捧げました。そういう方にはインディラ・ガンジー首相が頭を下げて、「この国をどうして守ったら良いか」という事を聞きに行くわけです。裸の行者に。こういう素晴らしい着物は一つも着ないのです。

ウパニシャッドという事分かります？ウパニシャッドというのはタサを求めてどんな修行でもすると。法を得るというのは、ただ座って得られるものではない。本当に真剣に命を懸けても足りないくらい。だから、ミャンマーではどれだけの若い人がパオに来て、「修行したい」と。でも、三ヶ月で止める。一年に何千人、何万人というお坊さんが通過するけれど、残るのはほとんどいません。ただ、そこに居る事によって、六年目で修行を終えるから急がないと。ミャンマーには百万人のお坊さんがいます。それだけ熱心です。

カンボジアも間違った考えでポルポトによって殺戮が起きましたけど。私が数年前に訪れた時には、王様が酒を飲まない、ヨギの戒を守って、パーティにも出ない。いつも瞑想していると。そういう事ですから、政治家とかが汚職したくても、大きい汚職が出来ない。

今から十数年前に、ある人が中国から二千億円のお金を盗んで、二千億円(笑)。中国はでかいのです。で、カナダに逃げて来て。中国に帰ったら死刑になるから。カナダ政府はお金のほうが大事だから、「死刑になるから返さない」と言っで、お金をがっぽり取った。で、私が二十数年前に中国に忠告したわけです。「あなた方の問題は政治体系ではない。コミュニストとかそういう事ではない。あなた方の最大の問題は汚職であると。これから汚職が発生する」と。数年前に汚職で摘発した数が二十万人。全部刑務所行き。汚職は公務員。

人間の心というのは法がなければ、止まる所を知らない。特に南米では大統領が選挙に受かって、まずやる事は金を貯めてアメリカに逃げる事。これは本当の話。エクアドルは財政が破綻してアメリカドルを使う。ニカラグアもアメリカドル。全ての南米の大統領は選挙に勝ったら、金を貯めて金を盗んでアメリカに逃げてしまうから。日本はまだそこまでいっていないと思う。それこそ

無法の国。

キリスト教で絶対に地獄に落ちると教会では言うけれど、全く無視。神様にお願いすれば、全て許してもらおうという考えで。免罪符って知っているでしょう。金を数億円、教会に寄付したら「よしよし。天国だ」と。ここが一神教の最大の弱い所。

お釈迦様は大王にさえ、「あなたの両親が絹を着たような生活をしたか、それとも、こういう風にギーのように醍醐のように良い事をしたかによって決定する」と。ただ、その救いとなるのは「あなたが修行をなさい」と。「本当の意味で両親を助ける、親戚の人を助ける、子供を助ける、まず、あなたがしなさい」と、きつく言っていました。お釈迦様だから、優しく。私みたいなきつい言葉は使いません(笑)。

【参加者】

スリランカでは、満月と新月に上弦下弦で、一月に四回、いつもは五戒ですけど、その時は八戒を守って、白い服を着て、お供え物をして、お寺行くと。観光地も学校も全部休みで。そういう日になっていましたね。

【水源師】

つまり、私達から見れば、お伽話でしょう？2600年前、お釈迦様がスリパーダで、全宇宙に向かって報告したわけですね。「私は正道しました」と。それが、楞伽（ランカ）経です。だから、あのスリパーダは非常に、地球の最も大切なポイントになります。

【参加者】

それで、四つの宗教の聖地なのですか。



スリランカの寺院

神を信じていない集団によって世界中で起こる悲劇

【水源師】

はい。で、スリランカには仏歯が二つあります。犬歯二つ。一つはキャンディ。もう一つはあなたの行った近くの、そこには行っていないと思う。案内してくれないと思う。前の大統領は必ずそこへ行って頭を下げていました。で、今の大統領はお金に目がくらんで、この事態を起こしたのです。というのは、その時に忠告したわけですね。絶対に仏教とイスラムは相受け入れない関係にあると。その昔、イスラムがカブールに来た時、ガンダーラ大学の 3 万人のお坊さんの首を獲ったから。今でも I S I S は獲るでしょう。インドの方では、一日にして、ナーランダ大学の方で 30 万人のお坊さんの首が獲られた。原爆どころの話ではない。

つまり、人間は殺されるのが嫌いだから、殺されない為に、服従して仏教とか関係ないと。私は言いましたよ。カブールで。誰も反対しない。非常に深く考えて。で、その後、私が去った一週間後に、タリバンとか政府とか、平和主義者が、全部協定を結んで、「戦いを止めよう」という方向に走ったけれども、アメリカとしては 700 兆円のお金をつぎ込んでいるから、止めたくないわけです。もう、子供は両親がいない、人が地べたに寝るのが当然。

「これがあなた方の栄光を求める神からの贈り物ですか？」怒らない。黙っていた。「あなた方は世界最大のクシャン帝国を造って、世界に誇る文明を持つ

た子孫でしょう？」と。「どうしてこういう事になったのですか？」とはっきり言った。「私は分からないから、ドバイにいる先生に聞いてくれ」と。ま、正直ですね。怒らなかった。そこにコンピューター技師のトルコ人が居て、「先生、トルコ語が話せますか？ぜひ、あなたの話をトルコに行って、話してください」と。

結局、今は、本当の事を世界の人を知りたいのです。何故私達は生きて、どうしてこんな事になっているのか？現実の問題なわけです。神に祈っても、人が殺されて、貧乏になって、経済が破壊されて、神どころの話ではないわけです。シリア、リビア、イラク、全部見て知っているでしょう？

不思議な事にスリランカは、こういう悲劇（テロ）が起きましたけど、まだそこまでは行かない。皆、仏国でじっと頑張っているから。テロリストが、お釈迦様が来たというお寺を爆破してごらん、それこそ皆殺しになってしまう。それだけ、心が弱いわけです。つまり、一番弱い者を虐めるという、これが宗教。だから、本物じゃない。

イスラムの人は言いました。「私達は戦争をしたくない。平和に皆と仲良く生きたい」と。でも、そういう風に来れる状態ではないわけです。スリランカでも商人が全部イスラムで経済を握る、そして良い所は全てアラブのお金で買い占める。そして真面目に働いている人は貧困を受け入れて、コツコツと。ただ、お釈迦様の教えだけが楽しみで生きています。

そういう中で、イスラムは集団を組んで、絶対に他の宗教の人達とは口も利かない。これはもう、宗教ではないです。全てが神に依って創られて、神に依って生かされているならば、全てが同じ平等の権利があって、全て恩恵を受けて、全て仲良くしなければならないという事。という最初の掟があります。イスラム、ユダヤ教、キリスト教。それを完全に無視しているから、全（無神論者）、神を信じてない集団です。戦争を起こすという事は、神を信じていないという事、最初の掟を全部破っている。コーランにしろ、トーラにしろ、旧約聖書にしろ、読んでみてください。最初に書かれているから。

（＊エチオピアで1700年代に発見された 数千年の眠りから覚めて、幻の旧約聖書 **Enoch**【イスラム教、ユダヤ教、キリスト教】に不思議な木のことが述べられています。それは仏教の四大の事と、悟りの木の事があります。ヒンズー教も同じこと言っています。＊）

という事を、未だに誰も日本では言わないという。世界最高の教学仏教をやっている方が言わないという事が、摩訶不思議。摩訶不思議。

本題に入る前に

という基本的な事を言っているのは、今これからお話しする、如何にして阿耨多羅三藐三菩提を手に入れるかという。基礎的な事をしっかり言わなければ、皆生半可に聞きます。生半可に聞いた場合には私の責任もあります。そこで、これだけしつこく時空の事、それから安慧菩薩の核心の名色の事、を踏まえて言うのは、私も地獄に行くのは嫌だから、ここまで言いました。後は聞く人の個人的な責任ですよという事です。どこまで真剣に。私じゃないですよ。お釈迦様の言葉ですよ。否定出来るという事ですね、お釈迦様を。大変な事です。大変な事です。全ての、達磨大師様、三蔵法師様、全てを否定するという事。凄い事です、これ。あれだ、これだと言う、完全に頭の狂った集団になってしまいますね。つまり、本当に経典を読んでいない。何故読んでいないと言うのか、それは修行をしていないから、経典は読めない。聖典の達磨多羅経にしろ、最後にアスバが出てきます。アスバの行法。アスバの行法は簡単で、あそこで教えたはず、玉泉寺で。皆さんがこの、サティパターナ、四念処の方は難しいから、出来ない人の為に、ブッダヌサティ、メッタヌサティ、マラヌサティ、アスバヌサティ、三十二分身法、を紹介して。そこで皆さんが急激に力を付けて、それで、皆さんの中には過去を観る行者も出て来ているし、未来を観る行者も出て来ているし、それに、お釈迦様の教えの金剛般若波羅密多経の極意ももう手に入れている人も出て来たから、もはや、私としては、一般の行者が日本のどのお坊さんより、高い所に行ってしまったから。

そろそろ私も、二年間はじっと、遊ばせてもらおうかな。という事です。インドでも居ないのですってよ。過去とか未来を観る行者は。聞いた事無いと言っていまいした。インドの人に聞きました。だから、皆さん、安心されて、一緒に山に登る所まで来ていますから。なかなかこの本題に入っていけないけど(笑)。阿耨多羅三藐三菩提のどこ。まあ、聞けない人は文章で読むしかないのだけれどね。

【参加者】

明日は金剛般若波羅密多経の内容を聞けるのでしょうか？すごく楽しみにしているのですけれど。

【水源師】

大阪の方では大事な所、ポイントを話しました。明日は、ポイントを話してその後、詳しく。

【参加者】

文章も良いのですが、先生から直接、バイブレーションを受けた方が。

【水源師】

そりゃあ、違いますよ。心々伝印だから。文字とかテレビでは伝わらない。

【参加者】

はい。なるべく、直にと思って。

無所得

【水源師】

その解答は、正法眼蔵。ここの本当は心々伝印です。ここにあります。無所得という判を押しています。これは無所得という字です。これは非常に大切に、金剛般若波羅密多經の中で、大燈明仏からお釈迦様が受記を受けたわけですね。スマナという名前で。その時に、実、無所得を獲得したという事です。ここに書いてあります、私は知らなかった。私は無所得が大好きだから。そこが核心になっています。お釈迦様がそれによって正道されました。

つまり、全てのインドの行者＝ブラーミンは人にあげるのですよ。でなければ、乞食。あげた後でブラーミンになって。奥さん、子供もいますけど、最後は森に入って余生を過ごし、ウパニシャッド＝禪をしないと。それによって、自分も救われ、子供も救われ、奥さんも救われ、だから、奥さんと一緒に山に入っていきます。お釈迦様の時代から。

だから、ちょっと誤解されているわけです。女性が側に居ちゃダメとか。結局、アメリカ、ご存じのように、トランプ大統領とか、女、女で。ちょっとすれば、ワーっと言うのが私達。もう、動物的な楽しみしか知らないないからです。

だから、お釈迦様は、大金持ちに生まれて、お父さんが死んで、財産全てを貧しい人にお布施して、奥さんを連れて、二人で山に入って行きました。という事を何回もしているわけ。全てを与えて、最後は、お釈迦様は自分の王国まであげたわけです。子供まであげたわけです。そういう、全てを、無所得、無所得の行を達して、最後の行を終えて、その後、ネパールで第三皇子に生まれて、最後に自分の身体を母親トラに食べさせたわけです。壮絶な話ですよ。それをお寺に行って「何とか何とかお願いします」って(笑)。

どれだけの命を捨てて、私達を救おうとされたか。桁が違う桁が。日本の全

てのお坊さんは、この話を報告しなければいけないと思っています。私は一般衆生で、トラに生まれたわけではないし、そういう風な学校に行ったわけではないし、そういう風に仏教大学で勉強されたのだったら、私の十倍百倍、日本全国で話しをしなければならないと思うのですけどね。お釈迦様のお話ですよ。お釈迦様を抜かして話しがあるわけがない。

そして、お釈迦様の話は、私達現代の科学を数段超えた域にあります。だから、西洋では必死になって仏教を勉強しようとしていますけども、全て頭で。だから、どこにも行けない。変な仏教を作ってしまう。アメリカ仏教、ヨーロッパ仏教。ところが今度、日本の人がそれを真似るように。棚ぼたで。だから、何処に行くか分からない。仏国に生まれて。スリランカと比べてどう思いますか？情けない。末恐ろしい。まあ、二年間雲隠れするから、キツイ事を(笑)。まあ、少しは目を覚まして頂ければ。



水源禪師法話集 108

(2019 年 4 月 28 日 山梨法話会 2 日目)

2019 年 6 月 21 日発行

編集兼発行 一乗禅の会